

# JSTにおける産学連携の 支援制度について

平成29年11月8日 @東京農工大学  
産学連携展開部 宇井 賢



科学技術振興機構

# 本日の説明内容

---

- ✓ JST事業の概要
- ✓ A-STEPの概要
- ✓ 地域産学バリュープログラムについて
- ✓ シーズ育成タイプについて
- ✓ 未来社会創造事業について

# 本日の説明内容

---

- ✓ JST事業の概要
- ✓ A-STEPの概要
- ✓ 地域産学バリュープログラムについて
- ✓ シーズ育成タイプについて
- ✓ 未来社会創造事業について

# 科学技術振興機構 (JST) の概要

## ◆ 国立研究開発法人科学技術振興機構 (Japan Science and Technology Agency)

- 文部科学省所管法人、平成15年10月1日設立
- 平成28年度収入1,060億円（うち、政府支出金1,009億円、基礎研究：55%, 産学連携等：26%）

### JSTの使命

科学技術イノベーションの創出に貢献

### ビジョン

- ① 創造的な研究開発により、科学技術イノベーションを実現します。
- ② 「バーチャルネットワーク型研究所」として世界の知を結集し、成果を最大化します。
- ③ わが国の科学技術基盤を整備し、科学技術イノベーションを加速させます。

### 事業内容

研究開発戦略を立てる

科学技術イノベーションを興す

研究開発の推進

研究開発の実用化

国際化の推進

産学連携拠点の活用

科学技術イノベーションの基盤をつくる

データベース等ツールの整備

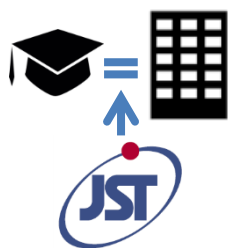
次世代を担う人材育成

科学技術を広く伝える

# 産学連携・技術移転の支援制度

科学技術イノベーション創出に向けて、大学等の「基礎研究」と企業の実践的な「応用研究・開発」をつなぐ

個別課題に関する  
共同研究に対する支援



**研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）**

**地域産学バリュープログラム**

先端計測分析技術・機器開発プログラム（先端計測）

産学共同実用化開発事業（NexTEP）

共創の場の形成に対する  
支援



センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム

世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム

産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）

大学発ベンチャーに対する  
支援



大学等発新産業創出プログラム（START）

出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）

# 本日の説明内容

---

- ✓ JST事業の概要
- ✓ A-STEPの概要
- ✓ 地域産学バリュープログラムについて
- ✓ シーズ育成タイプについて
- ✓ 未来社会創造事業について

# A-STEPの概要

## 目的

大学等で生まれた、国民経済上重要な科学技術に関する**研究成果を実用化することにより、社会へ還元することを目指す技術移転支援プログラム**

## 特徴

- ✓ 大学等の研究成果をコア技術とする研究開発が支援対象
- ✓ 研究開発**フェーズに応じた複数のステージ**を用意
- ✓ **医療分野**を除く、幅広い分野の提案に対応

# 地域産学バリュープログラムの概要

## 目的

地域における企業の競争力強化に資するべく、企業等の開発ニーズ（企業ニーズ）の解決等のため、大学等が保有する研究成果、知的財産（大学シーズ）がその解決に資するかどうかを確認するための試験研究開発費を支援します。

## 特徴

- ✓ 企業ニーズに基づき、技術移転の可能性が見込まれる大学等シーズ活用のための試験研究を支援。
- ✓ JSTのマッチングプランナー（MP）による活動支援。

## 支援内容（H29年度）

### 【研究開発費】

基準額 **300万円**/件（間接経費・再委託費を含む）  
（H30年度新設の実証研究タイプでは最大 **1000万円**/件）

### 【支援対象】

大学・高専・公設試等

### 【研究開発期間】

1年間

### 【審査方法】

形式審査→書面審査（外部有識者）→課題の決定

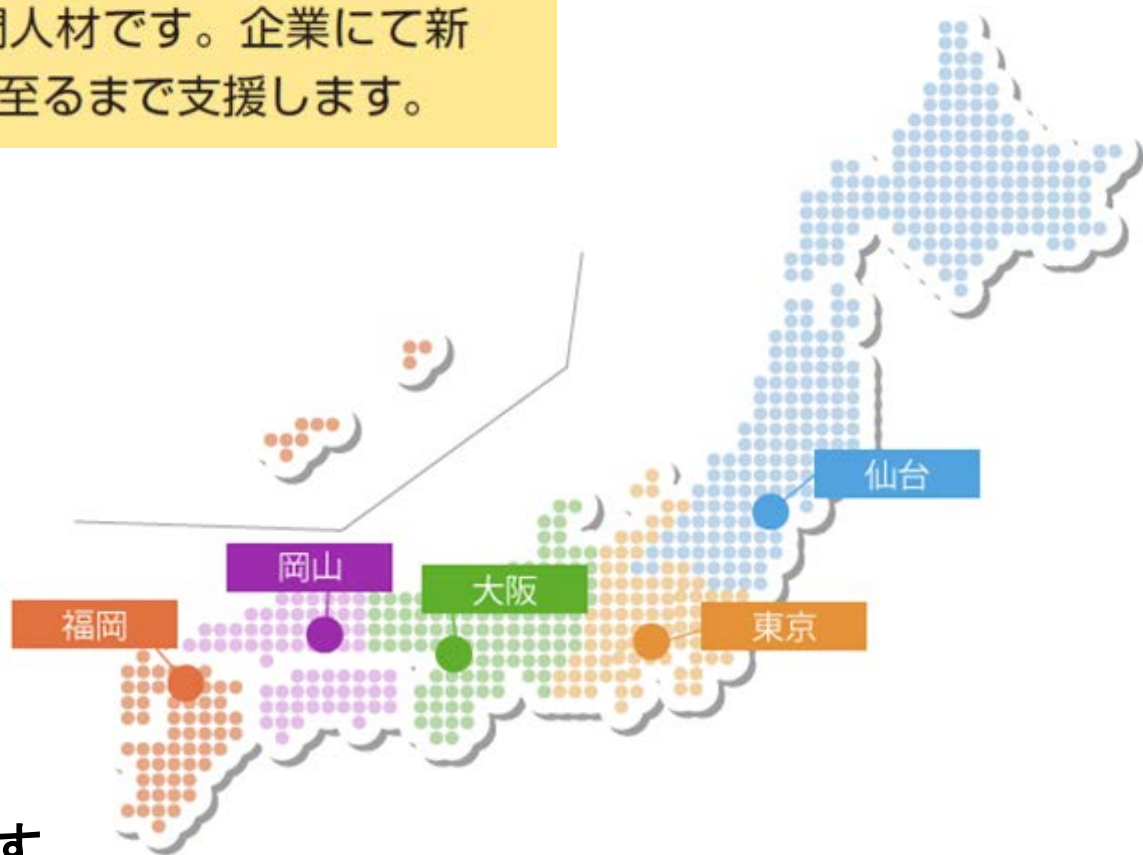


# JSTマッチングプランナー(MP)とは？

地域の支援機関・大学等と連携しながら、企業が直面する技術課題（企業ニーズ）を把握し、全国の大学等の研究成果（大学シーズ）と結びつける専門人材です。企業にて新商品開発、事業化等を目指す段階に至るまで支援します。



- 全国5拠点にMP22名を配置しています。  
(※平成29年10月現在)
- 専門分野に限定せず、幅広い技術分野の研究開発に対応します。



# MPによる皆様へのご支援の例

## ～はじめませんか、産学連携！～

**MP**は産学共同開発の**芽出し**を支援する他、  
**次の展開へのステップアップ**を支援します！！

MPによる大学の  
先生方、コーディネータの皆様への  
支援の例



○自分の研究に興味を持ってくれる企業はあるものの、リスクが高く企業との共同研究に至らない。



MPが**試行的なデータ取得に使える支援制度**を提案し、産学共同開発のきっかけづくりをサポート。  
成長に向かうプロジェクトについては、**より大きな共同開発への発展**に向けた提案を実施。

○共同研究で専門外の技術的課題に直面し、他大学など他機関との連携を模索している。



課題が抽出された産学共同研究について**解決策や連携先**の情報提供。

# 29年度の実施状況

| 地域産学バリュープログラム | 今年度の実績            |
|---------------|-------------------|
| 募集期間          | H29.3.29～H29.5.31 |
| 応募件数          | 1132              |
| 採択件数          | 185               |
| 倍率            | 6.1倍              |

# シーズ育成タイプについて

---

- ✓ 概要
- ✓ 対象分野
- ✓ 審査の観点
- ✓ マッチングファンド

# シーズ育成タイプの概要（1）

---

## ✓ 概要

大学等の研究成果に基づく顕在化したシーズの**可能性検証及び実用性検証**のため、産学共同での本格的な研究開発を支援

## ✓ 目指すところ

社会的・経済的なインパクトに繋がることが期待できるイノベーションの創出に向け、科学技術の知見に基づいた、**中核となる技術の構築**、或いは中核技術の構築に資する成果を得ること

# シーズ育成タイプの概要 (2)

## 課題提案

- ✓ 企業責任者と研究責任者が共同で提案
- ✓ 企業責任者が課題全体の責任者（プロジェクトリーダー）

## 産学共同研究チーム

- ✓ 複数の企業、大学等の参画も可能

## 支援規模

- ✓ JST支出総額2,000万円～5億円（マッチングファンド形式）
- ✓ 実施期間：2～6年
- ✓ フィージビリティスタディを目的に採択する場合もあり  
（シーズ育成タイプFS：上限2,000万円、1年程度）

# 課題提案者の要件

## 企業責任者

- ✓ 研究開発を行っている、日本の法人格を有する民間企業に常勤していること

## 研究責任者

- ✓ シーズの創出にかかわった者であること（特許の場合は、その発明者であること）
- ✓ 日本国内の大学等に常勤の研究者として所属していること。

※企業責任者または研究責任者として、  
シーズ育成タイプに応募可能な課題提案は、**一人あたり 1 件に限ります。**

# 対象分野

- ◆ 第1分野から第4分野まで設定し、各々の分野にPOを設置。  
さらに、各POが重視しているテーマを『プログラムオフィサーの方針』として提示。

| 分野名  | 大凡の分野          | PO                                      |
|------|----------------|-----------------------------------------|
| 第1分野 | 情報通信<br>電子デバイス | 澤 源太郎<br>(元 NTTコムウェア株式会社 代表取締役副社長)      |
| 第2分野 | ものづくり          | 横井 秀俊<br>(東京大学生産技術研究所機械・生体系部門 教授)       |
| 第3分野 | 機能材料           | 浜田 恵美子<br>(元 名古屋工業大学大学院工学研究科 教授)        |
| 第4分野 | アグリ・バイオ        | 穴澤 秀治<br>(一般財団法人バイオインダストリー協会 先端技術・開発部長) |

※医療分野は国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の支援対象です。（<http://www.amed.go.jp/>）



# 審査の観点

---

## ① テクニカルメリット

- ✓ 独創性・優位性の高いシーズ技術を基にした研究開発計画であり、実行可能な体制が構築されていること

## ② ビジネスメリット

- ✓ 市場優位性を確保するための事業化戦略が十分検討されていること

## ③ 知財戦略

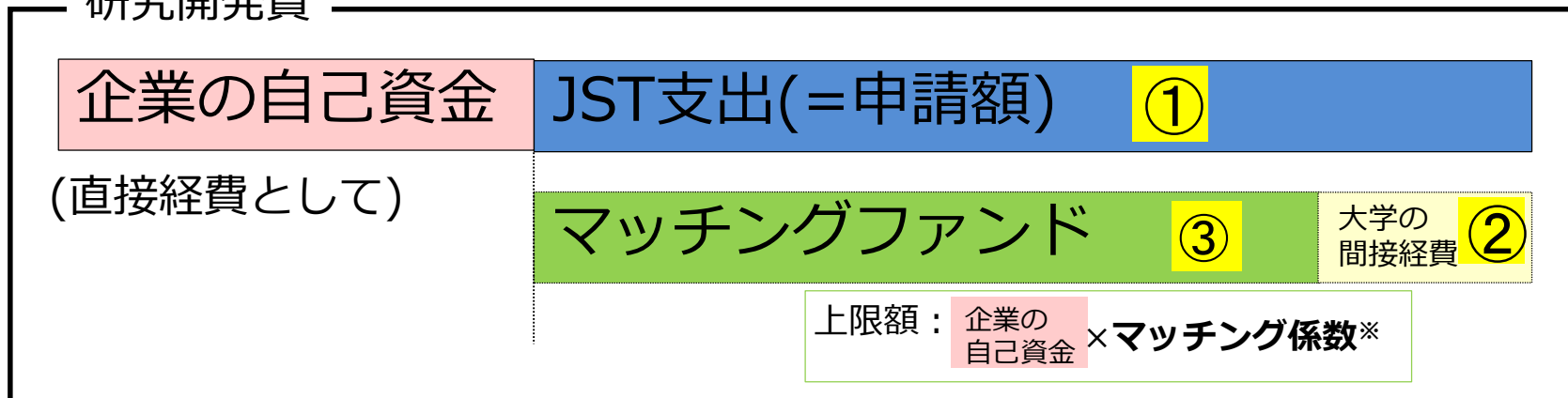
- ✓ 競争優位性を保つための知財戦略が具体的に検討されていること

## ④ イノベーションインパクト

- ✓ 国民生活にインパクトを与えうる成果や波及効果が期待できること

# マッチングファンド形式について

## 研究開発費



※マッチング係数 資本金10億円以下: 4  
資本金10億円超: 2

- ①全研究開発期間のJST支出額(大学等の間接経費含む)は 2,000万円～5億円の範囲内。
- ②大学等の間接経費はマッチングファンドに含まない。
- ③企業の資本金・自己資金の額によってマッチングファンドの上限額を決定。

公募開始は例年3月ごろから(H29年度公募期間実績 3/1～5/11)ですが、事前に  
マッチングファンド、ビジネス計画等について企業側との摺り合わせが必須となります

# 29年度の実施状況

| シーズ育成タイプ | 今年度の実績                   |
|----------|--------------------------|
| 募集期間     | H29.3.1～H29.5.11         |
| 研究開始日    | H29.10.1                 |
| 応募件数     | 178                      |
| 採択件数     | 35<br>(うちシーズ育成タイプFS 12件) |
| 倍率       | 5.1                      |

申請内容等につきまして、個別相談を受け付けております  
お気軽にご相談ください！

# 本日の説明内容

---

- ✓ JST事業の概要
- ✓ A-STEPの概要
- ✓ 地域産学バリュープログラムについて
- ✓ シーズ育成タイプについて
- ✓ 未来社会創造事業について

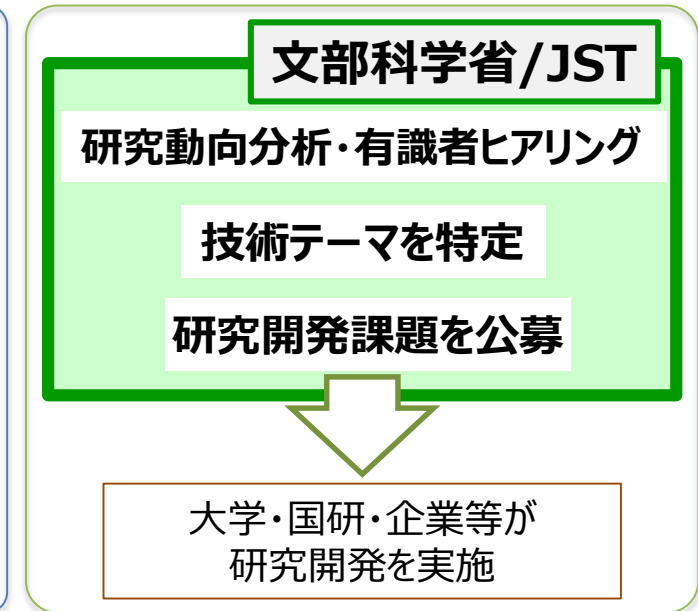
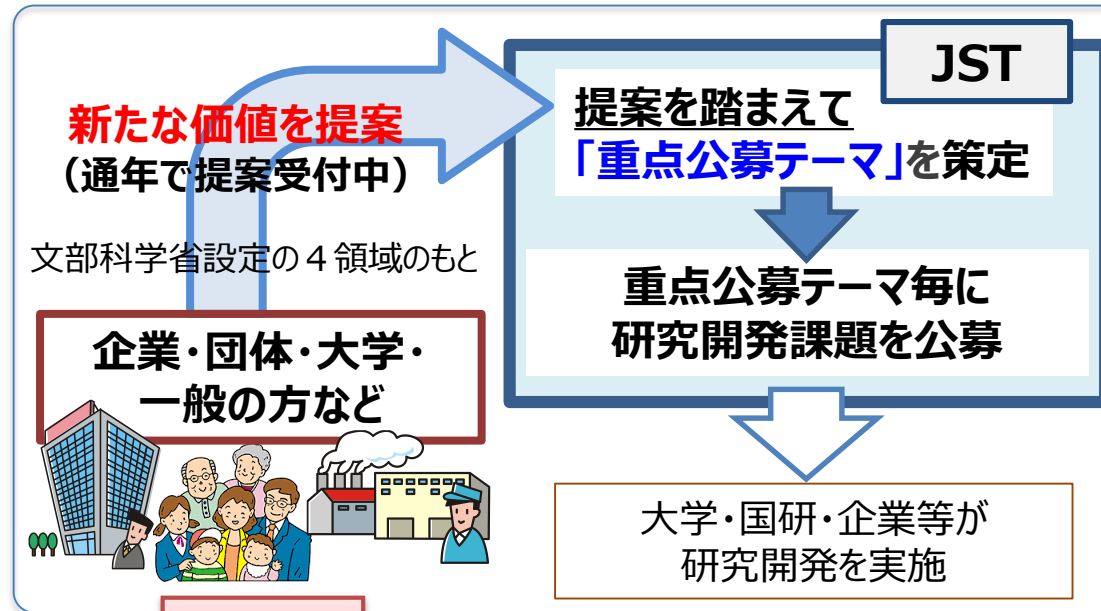
# 未来社会創造事業の特徴 「2つの型」と「テーマ提案募集」

## 『探索加速型』

| 研究タイプ | 研究開発期間 | 研究開発費     |
|-------|--------|-----------|
| 探索研究  | 最大3年程度 | 総額6,000万円 |
| 本格研究  | 最大5年程度 | 総額20億円程度  |

## 『大規模プロジェクト型』

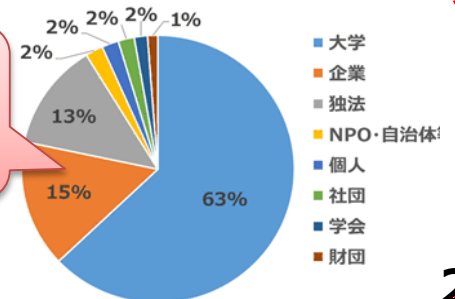
| 研究開発期間 | 研究開発費                               |
|--------|-------------------------------------|
| 最大約9年半 | 1～4年度：総額14～20億円<br>5～10年度：総額26～40億円 |



1,062件の  
「新たな価値」が応募

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 超スマート社会の実現        | 410   |
| 持続可能な社会の実現        | 684   |
| 世界一安全・安心社会の実現     | 496   |
| 地球規模課題である低炭素社会の実現 | 344   |
| 全件数               | 1,062 |

のべ177  
企業関係者  
が応募



# 研究者の皆様をお願いしたいこと

---

- ✓ 新たな価値(「科学技術で作りたい未来社会像」)の提案

価値提案から重点公募テーマが決定

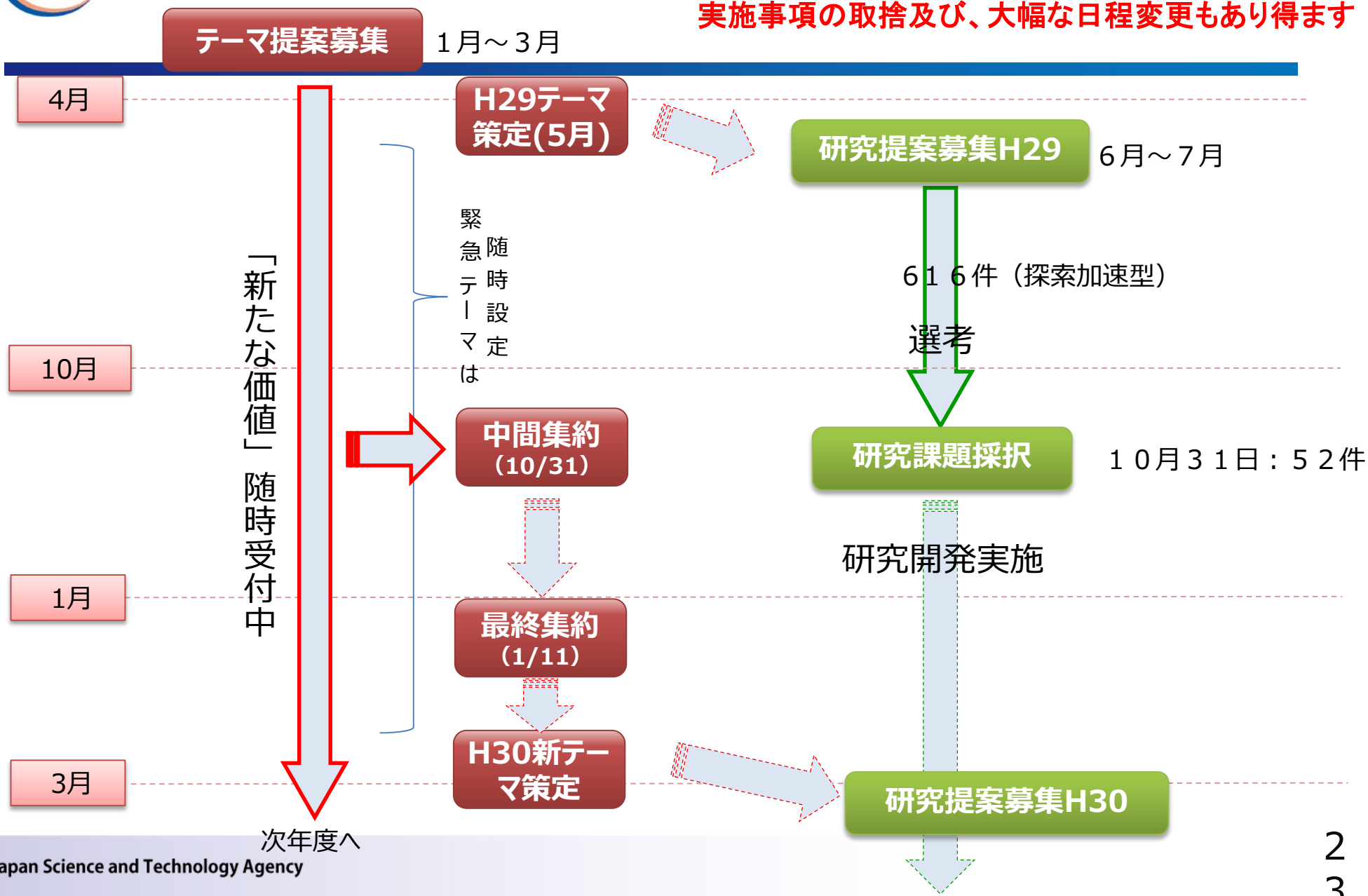
各領域の運営統括からの「フォーカス」を要確認

- ✓ “改めて”、バックキャストした研究開発課題の提案

進行中の研究開発の単純延長ではない課題提案

# 未来社会創造事業（探索加速型）のH29～スケジュール

(注意) H30年度予算の調整状況等により、  
実施事項の取捨及び、大幅な日程変更もあり得ます



# お問い合わせ先

| プログラム名          | お問い合わせ先                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域産学バリュープログラム   | 産学連携展開部 地域イノベーショングループ<br>Tel: 03-6272-4732<br>e-mail: <a href="mailto:mp@jst.go.jp">mp@jst.go.jp</a>                                                                                                                                          |
| 研究成果最適展開支援プログラム | 【シーズ育成タイプ】<br>産学連携展開部 研究支援グループ<br>Tel: 03-5214-8994<br>e-mail: <a href="mailto:a-step@jst.go.jp">a-step@jst.go.jp</a><br><br>【NexTEP】<br>産学共同開発部<br>Tel: 03-6380-8140<br>e-mail: <a href="mailto:jitsuyoka@jst.go.jp">jitsuyoka@jst.go.jp</a> |
| 未来社会創造事業        | 研究開発改革推進部<br>Tel: 03-6272-4004<br>e-mail: <a href="mailto:kaikaku_mirai@jst.go.jp">kaikaku_mirai@jst.go.jp</a>                                                                                                                                |



**ご清聴有り難うございました。**